



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場取引所 東 名

上場会社名 コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社

コード番号 2580 URL <http://www.cccj.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) マイケル・クームス

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 杉田 豊

TEL 045-222-5850

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日

平成24年9月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	90,603	2.9	△65	—	△78	—	△364	—
23年12月期第2四半期	88,039	0.7	1,674	36.3	1,144	△13.9	17	△97.1

(注)包括利益 24年12月期第2四半期 △305百万円 (—%) 23年12月期第2四半期 △19百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	△8.27	—
23年12月期第2四半期	0.40	0.40

(注)24年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第2四半期	113,465	86,143	75.9
23年12月期	114,719	87,231	76.0

(参考)自己資本 24年12月期第2四半期 86,111百万円 23年12月期 87,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00
24年12月期	—	18.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	197,800	2.4	3,400	△16.0	3,600	△6.8	1,600	22.2	36.25

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(注) 当四半期連結累計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期2Q	45,003,495 株	23年12月期	45,003,495 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

24年12月期2Q	861,076 株	23年12月期	895,406 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期2Q	44,125,788 株	23年12月期2Q	44,103,070 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信〔添付資料〕P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成 24 年 12 月期の個別業績予想 (平成 24 年 1 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	174,900	2.4	3,000	△ 7.5	1,700	△ 1.8	38.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
販売数量の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の生産活動や個人消費は緩やかに持ち直しているものの、再び円高傾向の兆しが見られるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

清涼飲料業界におきましては、市場全体は昨年の東日本大震災の影響の反動を受け、前年販売数量を5%程度上回る着地となりましたが、依然として消費者の節約意識や販売価格の低下が継続する中で、競合との販売競争は激しく、当社グループを取り巻く市場環境は厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループにおきましては、各チャネルにおける重点活動課題を設定し、市場シェアおよび売上高・利益の拡大に向けて、全社員一丸となって取り組んでおります。

販売面におきましては、「コカ・コーラ」、「コカ・コーラ ゼロ」、「ファンタ」、「ジョージア」、「爽健美茶」、「アクエリアス」、「綾鷹(あやたか)」、「い・ろ・は・す」を「コア8」と位置づけ、主要ブランドに注力した販売活動を継続的に推進しております。併せて、ブランド力強化に向けた新フレーバーとして「アクエリアス ゼロ」、「い・ろ・は・す りんご」、新たな大人向け炭酸飲料として「シュウエップス プリティッシュ レモニック」を発売し、当社の持つブランドポートフォリオの拡充を図りました。また、手売りチャネルにおける売り場獲得および自動販売機の新規開拓に向けた営業活動を積極的に展開し、6月からはロンドンオリンピックと当社製品を最大限にアピールしたマーチャンダイジング活動を実施しております。

エリア戦略としましては、東海地方の元気を応援する「でら!ジョージア」プロジェクトの一環として、中日ドラゴンズとタイアップした「ジョージア エメラルドマウンテンブレンド 微糖 中日ドラゴンズ応援デザイン缶」を東海地方で限定発売する等、地域に密着した販売活動を継続して実施いたしました。

生産・物流面におきましては、本年より販売戦略と連動した需要予測精度の向上を目的に、SCM部から営業企画部へ需要予測機能を移管しており、さらに企画部門および業務部門の強化ならびに生産・物流を重視した活動を行うため、SCM部内のチーム体制を改組するなど、社内SCM体制の見直しを図りました。

CSR活動におきましては、コカ・コーラシステム全世界共通の事業指針である「Live Positively (リブ・ポジティブリー) -世界をプラスにまわそう-」を構成する『市場』、『環境』、『社会』、『職場』の四つの領域について重点的に取り組みました。お客様の様々なニーズに応えた高品質な製品をお届けするため、コカ・コーラシステム独自のマネジメントシステム「KORE(※)」を用いた、食品安全への取り組みをより一層強化するとともに、環境マネジメントシステムのPDCAを活用しながら、水資源保護や地球温暖化防止、廃棄物の削減など、環境負荷低減に向けた活動を実施いたしました。またスポーツ大会や文化活動など、地域社会での活動の支援も行っていました。

組織体制におきましては、2012年5月に社長直轄の組織として「ビジネス・トランスフォーメーション準備室」を新たに設置し、管理本部・営業本部の強力な連携体制のもと、当社グループ全ての領域における事業変革と中長期的な経営戦略策定に向けた取り組みを開始しており、さらなる企業価値向上を目指してまいります。

このような活動の結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同期比2.9%増の906億3百万円となりましたが、販売競争の激化による販売価格の低下に伴い利益率が減少したことや、販売費が増加した影響もあり、営業損失は65百万円(前年同期は16億74百万円の営業利益)、経常損失は78百万円(前年同期は11億44百万円の経常利益)、四半期純損失は3億64百万円(前年同期は17百万円の四半期純利益)となりました。

なお、当社グループにおいては、飲料事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

※ KORE(コア) : 「品質」「食品安全」「環境」「労働安全衛生」に関する基準を網羅し、「ISO」や各種法令の要求事項を満たし、更に厳しい基準を課した世界のコカ・コーラシステム共通のマネジメントシステム

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、1,134億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億53百万円減少しました。これは主として、売掛金が増加したものの、有価証券が減少したこと等によるものであります。

負債の部については、273億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億65百万円減少しました。これは主として、買掛金が増加したものの、未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

純資産の部については、861億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億87百万円減少しました。これは主として、利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、172億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ45億18百万円減少しました。当第2四半期連結累計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として売上債権の増加や法人税等の支払があったものの、減価償却費や仕入債務の増加があったこと等により、8億48百万円の収入（前年同期比28億77百万円収入減）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として販売機器等の有形固定資産の取得による支出があったこと等により、△43億87百万円の支出（前年同期比13億36百万円支出増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として配当金の支払いがあったこと等により、△9億79百万円の支出（前年同期比1億26百万円支出減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、節電に伴う企業活動への影響や消費者行動の変化などの不確定要素に加え、飲料市場における低価格化や競合他社とのシェア争いなど、厳しい事業環境が続くものと予想されますが、引き続き市場拡大に向けた販売活動を推進してまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績は、前述の「(1) 連結経営成績に関する定性的情報」に記載のとおり推移しておりますが、連結業績見通しにつきましては、これらの状況を踏まえ、以下のとおり修正いたします。

平成24年12月期通期連結業績予想の修正（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 197,200	百万円 3,700	百万円 4,000	百万円 1,900	円 銭 43.08
今回修正予想 (B)	197,800	3,400	3,600	1,600	36.25
増減額 (B-A)	600	△300	△400	△300	
増減率 (%)	0.3	△8.1	△10.0	△15.8	
(ご参考) 前期実績	193,081	4,047	3,861	1,309	29.68

(参考)

個別業績予想は、連結業績と同様の理由により、以下のとおり修正いたします。

平成24年12月期通期個別業績予想の修正（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 174,300	百万円 3,600	百万円 2,000	円 銭 45.34
今回修正予想 (B)	174,900	3,000	1,700	38.52
増減額 (B-A)	600	△600	△300	
増減率 (%)	0.3	△16.7	△15.0	
(ご参考) 前期実績	170,798	3,244	1,731	39.25

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に当たり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,794	5,775
受取手形及び売掛金	14,241	16,565
有価証券	16,000	11,500
商品及び製品	6,973	7,237
原材料及び貯蔵品	477	479
その他	5,432	6,116
貸倒引当金	△28	△25
流動資産合計	48,891	47,649
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,860	14,492
販売機器(純額)	14,209	15,138
土地	18,684	18,681
その他(純額)	6,513	6,327
有形固定資産合計	54,268	54,639
無形固定資産	1,420	1,440
投資その他の資産		
その他	10,251	9,840
貸倒引当金	△112	△105
投資その他の資産合計	10,139	9,735
固定資産合計	65,827	65,815
資産合計	114,719	113,465
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,988	10,671
未払法人税等	795	366
役員賞与引当金	38	—
環境対策引当金	2	2
その他	11,230	11,090
流動負債合計	22,056	22,129
固定負債		
退職給付引当金	2,717	2,764
役員退職慰労引当金	47	50
環境対策引当金	77	77
その他	2,587	2,299
固定負債合計	5,431	5,192
負債合計	27,487	27,321

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,499	6,499
資本剰余金	24,815	24,805
利益剰余金	56,998	55,840
自己株式	△1,209	△1,163
株主資本合計	87,104	85,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69	128
その他の包括利益累計額合計	69	128
新株予約権	58	32
純資産合計	87,231	86,143
負債純資産合計	114,719	113,465

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	88,039	90,603
売上原価	52,947	55,366
売上総利益	35,092	35,237
販売費及び一般管理費	33,417	35,302
営業利益又は営業損失 (△)	1,674	△65
営業外収益		
受取利息	24	17
受取配当金	19	19
受取賃貸料	62	64
廃棄有価物売却益	45	59
雑収入	26	38
営業外収益合計	179	200
営業外費用		
支払利息	10	7
持分法による投資損失	633	136
株式費用	27	31
雑損失	38	37
営業外費用合計	709	213
経常利益又は経常損失 (△)	1,144	△78
特別利益		
固定資産売却益	3	—
貸倒引当金戻入額	5	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
固定資産除売却損	194	247
投資有価証券評価損	2	15
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	187	—
災害による損失	156	—
その他	34	11
特別損失合計	575	274
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	578	△352
法人税、住民税及び事業税	656	292
法人税等調整額	△96	△279
法人税等合計	560	12
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	17	△364
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	17	△364

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	17	△364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37	59
その他の包括利益合計	△37	59
四半期包括利益	△19	△305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19	△305
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	578	△352
減価償却費	4,127	3,901
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	△10
退職給付引当金の増減額(△は減少)	68	46
前払年金費用の増減額(△は増加)	260	426
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△81	△38
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9	2
受取利息及び受取配当金	△44	△37
支払利息	10	7
持分法による投資損益(△は益)	649	144
固定資産除売却損益(△は益)	191	247
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	187	—
売上債権の増減額(△は増加)	△1,882	△2,323
たな卸資産の増減額(△は増加)	△373	△265
仕入債務の増減額(△は減少)	3,297	682
その他の資産・負債の増減額	△1,889	△581
その他	△117	△309
小計	4,964	1,540
利息及び配当金の受取額	90	40
利息の支払額	△10	△7
法人税等の支払額	△1,295	△714
その他の支出	△23	△9
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,725	848
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,324	△4,144
有形固定資産の売却による収入	29	16
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
投資有価証券の売却による収入	—	25
短期貸付金の純増減額(△は増加)	1,500	—
貸付けによる支出	△63	△151
貸付金の回収による収入	132	149
その他	△321	△279
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,051	△4,387
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△793	△793
その他	△312	△185
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,106	△979
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△432	△4,518
現金及び現金同等物の期首残高	5,561	21,789
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,129	17,270

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売数量の状況 (平成24年1月1日～平成24年6月30日)

<パッケージ別販売数量>

(単位：千函、%)

項目	前年同四半期 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	増減率
リターナブルボトル	520	540	3.8
ワンウェイボトル	30	49	63.3
～350ml	2,438	3,249	33.3
～500ml	9,596	10,304	7.4
～1,000ml	286	369	29.0
～1,500ml	2,928	2,836	△3.1
～2,000ml	5,971	6,622	10.9
ペットボトル計	21,219	23,380	10.2
～160ml	307	281	△8.5
～250ml	5,925	5,786	△2.3
～350ml	1,748	1,738	△0.6
～500ml	208	250	20.2
ボトル缶	953	1,205	26.4
缶計	9,141	9,260	1.3
ポストミックス	11,162	11,479	2.8
シロップ	601	579	△3.7
パウダー	2,016	1,889	△6.3
カップ計	2,617	2,468	△5.7
その他パッケージ	3,201	3,389	5.9
合計	47,890	50,565	5.6

※食品を含んだ数値になっております。

<炭酸・非炭酸、主要ブランド別販売数量>

(単位：千函、%)

項目	前年同四半期 (自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日)	当第2四半期 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	増減率
コカ・コーラ	9,423	9,520	1.0
(内訳) コカ・コーラ	7,093	7,196	1.5
コカ・コーラゼロ	2,120	2,232	5.3
ゼロフリー他	210	92	△56.2
ファンタ	3,422	3,606	5.4
カナダドライ	1,146	941	△17.9
スプライト	43	424	886.0
リアルゴールド	726	787	8.4
その他	178	474	166.3
炭酸飲料計	14,938	15,752	5.4
ジョージア	9,054	9,639	6.5
アクエリアス	4,769	4,339	△9.0
爽健美茶	3,309	2,872	△13.2
綾鷹/はじめ	1,944	2,995	54.1
煌	1,634	1,806	10.5
Qoo/ハイシー	1,792	1,488	△17.0
紅茶花伝	1,425	1,549	8.7
ミッツメイド	1,961	2,640	34.6
い・ろ・は・す/森の水	3,268	3,291	0.7
からだ巡茶	149	219	47.0
その他	3,358	3,724	10.9
非炭酸飲料計	32,663	34,562	5.8
食品	289	251	△13.1
合計	47,890	50,565	5.6

※食品を含んだ数値になっております。